

三豊市文書館だより

七 宝

Vol.6

発行 三豊市文書館

平成 25(2013)年 3 月 29 日



田植え仕事(年代未詳・三野町)

目 次

普及事業 春期企画展・・・・・・・・・・ 2

文書の移管・整理・公開・・・・・・・・ 3

表紙の写真・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

My Select ー資料整理の現場からー・・ 4

文書館日誌・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

普及事業

◎ 春期企画展

「三豊思い出写真帳 Vol.2 ～ 人が働く ～」

平成 24 年 3 月 1 日(金)から 4 月 26 日(金)まで開催しています。

昭和 30～40 年代を中心に、牛を利用した農業の様子や三豊市の伝統的な産業の様子を写真パネルで紹介しています。



主な展示資料

・農繁期の共同炊事

昭和 35 (1960) 年・財田町

農繁期は親戚や近所が一緒になって田仕事をおこなうため、食事の準備なども共同でおこなった。学校から帰ってきた子どもたちも、幼い子の子守を手伝うなど、農繁期は一家総出で、親戚・近所と一緒に、田仕事をおこなった。

・入浜式塩田のかけしお作業

年代未詳・三野町

入浜式塩田にはかけしお作業が不可欠であった。塩田の撒砂の乾燥を防ぐために、かけしお作業がおこなわれた。撒砂が乾燥しすぎると、効率がわるくなったという。



・山本鋳造業 鋳型 年代未詳・山本町

市指定無形文化財：大辻の鋳物製造法

山本の鋳造業で使用される鋳型。写真中央の鋳型は、「たからだの里」にある大久保謙之丞胸像の鋳型。胸像が建立されたのは平成 7 (1955) 年だが、「朱越」の刻印がある。朱越とは、豊中町桑山生まれの彫刻家織田朱越で、山本の鋳造所で原型師となり、数々の銅像製作にかかわった。山本町で昭和 57 (1982) 年に逝去。



文書の移管・整理・公開

◎ 平成 24 年度の文書の移管・整理状況

○三豊市 文書ファイル

平成 24 年 5 月より本庁 5 階書庫にて、平成 23 年度で保存期限が満了となった平成 18 年度作成 5 年保存文書・平成 20 年度作成 3 年保存文書の評価選別作業をおこないました。その作業の終了後、6 月からは本庁・教育委員会の各課をまわり、平成 22 年度作成 1 年保存文書の評価選別作業をおこないました。7～8 月からは保育所・幼稚園・病院等をまわり、保存期限満了文書の評価選別作業をおこないました。その作業の結果、文書館に移管された文書は「平成 24 年度 三豊市 文書ファイル移管状況」とおりです。

○旧町有期限文書

平成 24 年 9 月からは各庁舎に保存されている旧町の有期限文書の評価選別作業を開始しました。これらのなかには、すでに保存期限を満了している文書も多数あるのですが、文書館の開館が決まった時点からは廃棄せず、評価選別作業のために今日まで保存してきました。そのため、各庁舎とも膨大な数の有期限文書が保存されていたの

ですが、それらの評価選別作業をおこない、重要なものは文書館に移管し、それ以外のものは廃棄しました。

現在、高瀬町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町の文書については作業を終了し、財田町の文書の評価選別作業をおこなっています。山本町の文書については、平成 25 年度に作業予定です。

また平成 24 年度には、休園となった箱浦幼稚園などの文書についても、作業をおこないました。

平成 24 年度の移管状況は「旧町有期限文書 移管状況」とおりです。

○寄贈資料

「平成 24 年度 寄贈資料一覧」のとおり、3 件の資料を寄贈いただきました。

平成24年度 三豊市 文書ファイル移管状況

分類	点数
平成18年度作成 5 年保存文書	1075点
平成20年度作成 3 年保存文書	537点
平成22年度作成 1 年保存文書	213点
その他の文書	整理中

旧町有期限文書 移管状況

分類	評価選別	点数
旧高瀬町保存期限満了文書	終了	3481点
旧山本町保存期限満了文書	未着手	未着手
旧三野町保存期限満了文書	終了	809点
旧豊中町保存期限満了文書	終了	606点
旧詫間町保存期限満了文書	終了	2265点
旧仁尾町保存期限満了文書	終了	745点
旧財田町保存期限満了文書	作業中	整理中
幼稚園・保育所収集等、その他の文書		2173点

平成24年度 寄贈資料一覧

寄贈資料名	点数
財田町遺族会関係資料	20冊
百年のあゆみ 箱浦小学校創立百周年記念誌	1冊
愛媛県下讃岐国三野郡比地村絵図	30点

表紙の写真 — 春期企画展より —

田植え仕事 年代未詳・三野町

田植えなどの田仕事は重労働であり、とくに農繁期は家ごとでは労働力が不足するため、親戚や近所が一緒になって田仕事をおこなった。写真にも大勢の人々が写っており、田植えをおこなう早乙女などの姿も確認できる。



「お遍路さん」と三豊市

今では自動車やバスツアーを利用する方も多くなってきましたが、白い装束を身にまとい、金剛杖を持って歩くお遍路さんの姿を見たことがあるという方は多いと思います。

四国霊場八十八か所めぐりは、元々僧侶の修行としての巡拝だったものが江戸時代になってから民間に広まり、今に至るとされています。「順打ち」や「逆打ち」の他にも、四国4県のうち1県内にある霊場を廻る「一国まわり」や自分の住まいに近い7か寺を廻る「七か寺まわり」という巡拝方法もあるそうです。

ところで、各町の町誌等に紹介されている昔話や言い伝えを見ていくと、三豊市内にも大興寺、本山寺、弥谷寺と霊場が3か所あるためか、お遍路さんが絡むエピソードが登場します。

例えば、「家に訪ねてきたお遍路さんにお接待も何もしなかったが、後日そのお遍路さんが弘法大師(空海)だったと判明する」話が豊中町や三野町、そして高瀬町に伝わっています。お遍路さんへの冷遇を戒める話であるとともに、「お遍路さん=弘法大師の身代り」という考え方が伺えます。

地域のことを調べていく上で町誌等も重要な資料になります。文書館に所蔵されている資料が皆様にとって有益なものになればと思います。

(臨時職員 篠原苑美)



山本の鋳物業 年代未詳・山本町
市指定無形文化財：大辻の鋳物製造法

大興寺にある梵鐘も、大辻の鋳物師が江戸時代に鋳造したものだそうです。

文書館日誌

(1月4日～3月29日)

- 1. 24 相模原市より視察
- 2. 12 旧詫間町有期限文書の搬入
- 2. 12 旧豊中町税務課有期限文書の搬入
- 2. 21 愛媛県下讃岐国三野郡比地村絵図
寄贈受入
- 3. 1 春期企画展(～4.26)
- 3. 8 旧町有期限文書の廃棄
(高瀬町・詫間町・三野町)
- 3. 21 旧財田町有期限文書の搬入
- 3. 26 旧高瀬町選挙管理委員会文書搬入

イラスト：臨時職員 白井 孝子

三豊市文書館だより「七宝」vol. 6

発行 平成25(2013)年3月29日

編集発行 三豊市文書館

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西375番地

TEL 0875-63-1010

FAX 0875-63-1006

